

# あすなろ

## 第 23 号

発行 弘前大学教育学部  
同窓会  
〒036-8224 弘前市大字文京町 1  
TEL. 0172 (36) 2111代表  
編集事務局  
弘前市高杉字五反田191  
弘前市立北辰中学校校内  
TEL. 0172 (95) 2019



弘前大学教育学部校舎を正面から



### 教育学部の 存続を願って

弘前大学教育学部同窓会  
会長 木村 清之助

弘前では大雪の新年を迎えるのか心配されましたが、幸いにも少なくて除雪の苦勞も半減といったところですが、会員の皆様は如何お過ごしでしょうか。

さて、去る十一年度に弘前大学創立五十周年記念事業が会員の皆様の絶大なご協力の下に、盛大に執り行なわれて、今後の一層の飛躍を誓い合いました。教育学部では科学技術の発展、少子高齢化社会など社会の著しい変化に対応し、切り拓いていく人材の育成のため、これまでの学校教員養成課程、養護教員養成課程のほかに生涯教育課程を設けて大きな改組を行い、専門性向上のためカリキュラムも工夫改善がなされました。今度は大学の独立行政法人化への移行問題や大学の構造改革の一環として国立大学の再編・統合問題がでています。学部ごとに検討されるということなので、我が教育学部も当然これに深く関わってきます。北東北の秋田、岩手、弘前の三大学で、教育学部がどのような形態になるのか十四年度中に結論をたさなければならぬようです。

このように国の方針によって大学のみならず教育は大きな転換期を迎えています。いずれにしても、物作りの効率を第一とする経営感覚だけにとられない視点、つまり国家の屋台骨である教育の原点を見失わず、不易と流行をしっかりと見極めて後顧の憂いが無いよう願うばかりです。



## 現代社会の新たな課題に 대응して

教育学部長 小澤 熹

同窓会の皆様には、お健やかに充実した日々をお過ごしのことと拝察致しております。

少子化社会における、小、中学校等の学級減、統廃合等による教員採用数の落ち込みと関連して、全国的に教育系学部の縮小改革が行われましたが、それ以来、早くも二年を経過しようとしているところであります。

弘前大学教育学部におきましても入学定員一四〇名を減らすと共に生涯教育課程を新設するなどの大改革を行ったわけですが、お陰様で、新たな理念・目的に添った教育研究活動等が軌道に乗ってまいり、学校教育教員、養護教諭及び生涯教育の三課程に入学してきた学生諸君も、それぞれ目的をもって生き生きとした学習活動を展開しております。

この改革によって、学部教員は多くの新授業科目を展開しなければならぬ義務を負うことになり、大変忙しい毎日です。他方、学生定員を減らした点では、授業クラスの規模が小さくなり、よく目が行き届くようになりました。時には教室が何となく閑散としている空気さえ感じたりすることもあります。特に少人数

の基礎ゼミ、総合演習、教育情報演習等々は、ある事柄を多角的に捉え、各種の情報を自主的に集めて、この本質にせまりながら、課題を解決して行くというよきな能力の育成を目指しております。また、指導教官との人格的ふれ合いが濃くなることを通じて人間的成長にも期待がもてると考えております。

大学院の整備につきましては、昨年四月に二専攻十一専修の完成をみたところであります。ところが、東北地方唯一の養護教諭養成の講座が、保健体育専修内のコースという形になっておりましたので、これを独立した養護教育専攻として四月から再スタートすることにしました。これで教育学研究科は、三専攻十二専修、学生定員四二名(三名増)となり、北東北地域では特色を持つものとなります。また、同じく四月から大学院地域社会研究科博士課程が、全学的な独立研究科として発足しますが、その専任教員二三名中八名が教育学部教員で構成されていることは、時代の要請に応じた教育学部づくり、質の高い教員養成等にとって大きな力になると信じております。本年もよろしくお願い申し上げます。

## 北東北三大学連携推進会議が目指すもの

現在、連携推進会議は、新しい大学のあり方を求めて三大学間協議を行っていますが、改革の大きなうねりは、平成三年の大学設置基準の大綱化・弾力化にはじまっています。この時以来、大学の自己点検評価が義務づけられ、それに基づく見直し改組が全国的に行われたしました。本学の教養部の解体、理工、農学生命科学部の設置、人文、教育学部等の改組や大学院の整備がその現れです。

他方、若年人口の急速な減少や国家財政の膨大な累積赤字が進むなかで、国立大学の数を減らし、財政支出を抑えながら、学術の水準維持をも図ろうとする政策が打ち出されて来るわけです。それが、国立大学の独立行政法人化であり、教員養成系大学・学部の縮減・統合問題であり、「トップ三〇」で知られる大学の構造改革プランであります。

したがって、そこには、厳しい競争と評価による大学淘汰があり、良い成績をあげるには、厚く予算等を・手当てし、中核大学としての地位と活動が保障されることになるでしょう。

しかし、地方大学は歴史も浅く教育研究基盤が弱いため、単独ではなかなか良い成績を上げることが困難です。そこで北東北の三国立大学は連携方式をとって、少しでも高い成果を上げ得る教育研究組織・活動を創り出す必要があり、この連携推進会議を組織したというのが本音といえましょう。

推進会議は、その下に四つの専門委員会と一つの懇談会を設置しました。すなわち共通教育専門委員会は、平成十五年四月から、初年度セミナー方式及び教員移動による集中講義方式で共通教育の単位を互換する合意に至りました。公開講演会等専門委員会は、平成十三年度に「二一世紀・少子高齢化社会の未来を語る」という基本テーマの下に、弘前、盛岡、秋田で講演会とパネルディスカッションを実施しました。共同研究専門委員会は五件の共同研究計画を立てたところであり、国際交流専門委員会も外国語による講義展開等の連携について策を練っているところとす。

最後に「大学の再編・統合に関する懇談会」ですが、これは二月五日の協議で設置が合意されたばかりで、活動はこれからです。大学の再編・統合のメリット、デメリット等の情報交換を行うことになっていますが、同時に昨年十一月の「教員養成系大学・学部の在り方懇談会」の報告に示された教育学部の再編統合問題が、早速話題にのぼると考えられます。

また、この会議とは別に三大学の教育学部長等も独自に懇談をしていますが、各学部、県にも大きな影響がありますから早急に結論を得るとは困難でしょう。しかし、弘大教育学部は、教員養成担当学部として残る意向と希望を強く心に抱きながら情報交換等に臨んでいます。

大学院教育研究科だより

教育学研究運営委員会

委員長 浅野 清

同窓会の皆様、教育学研究科修了生の皆様、二十一世紀最初の一年をどのようにお過ごしになりましたでしょうか。今回も大学院について報告できますことは、ひとえに皆様の御協力とご支援あつてのことと感謝いたしております。

大学院は、平成六年に学校教育専攻(学校教育専修)と教科教育専攻(国語教育、音楽教育、保健体育、家政教育、及び英語教育)の二専攻六専修で発足し、平成十一年には社会科教育、理科教育及び美術教育の三専修、そして本年度には数学教育と技術教育が新たに加わつたことで、大学院の全専修が設置されたことになりました。また、整備計画の一つであつた養護教育専攻(養護教育専修)の設置準備も完了し、平成十四年からは三専攻十二専修の体制で教育研究を行えるようになりました。

また、別表の今年度入学者数と平成十四年度入学予定者数からわかるように、大学院発足以来最多の学生を迎えることになっていきます。教育学研究科という特殊性から、入学者の専門領域は勿論のこと経歴や年齢なども様々ですが、これが学生たちの研究意欲と能力を高める刺激となることを願っています。

昨年十一月にかけて大学院生及び

修了生へのアンケートを行いました。質問内容は入学の目的、施設・資料の充足度、カリキュラム等に関するもので、凡そ十項目にわたっています。寄せられた忌憚のない回答は分析したのち、自己評価の資料として、また今後の教育研究体制の改善に向けての貴重な意見として活用したいと思っております。お忙しいなか御回答頂いた修了生の皆様には心より御礼を申し上げます。

現在、臨床心理士養成指定大学院の認可にむけて整備計画を進めておりますが、並行して、専修免許認定講習や大学院止規科目のサテライト授業を視野にいれた「現職教員に特化した大学院公開講座」を平成十四年度から開催するよう準備を進めております。

今後とも同窓の皆様には変わらぬご理解とご支援をいただけますようお願い申し上げます。

大学院生の入学状況

|        |         | 平成13年度     | 平成14年度     |
|--------|---------|------------|------------|
| 専攻     | 専修      | 入学者数       | 入学者数       |
| 学校教育専攻 | 学校教育専修  | 10 (3)(1)  | 13 (6)     |
|        | 国語教育専修  | 3 (1)      | 2 (1)(1)   |
| 教科教育専攻 | 社会科教育専修 | 3 (1)(1)   | 5 (1)(1)   |
|        | 数学教育専修  | 2          | 7          |
|        | 理科教育専修  | 9 (3)      | 5 (1)      |
|        | 音楽教育専修  | 5 (2)      | 4          |
|        | 美術教育専修  | 1 (1)      | 1          |
|        | 保健体育専修  | 2 (1)      | 2 (1)      |
|        | 技術教育専修  |            | 3 (1)      |
|        | 家政教育専修  | 4 (1)      | 1 (1)      |
|        | 英語教育専修  | 2 (1)      | 3 (2)      |
|        | 養護教育専攻  | 養護教育専修     |            |
| 計      |         | 41 (14)(2) | 50 (15)(2) |
| 定員     |         | 39         | 42         |

平成14年度は入学予定者数 ( )は現職の数、( )は留学生の数

教室の中の

軽度障害児

障害児教育研究所

安藤 房治

学校や学級に入る程障害が重くない、あるいは一般に障害があると見られない軽度障害児であるために、学業不振や問題行動の原因が子どもの性格や家庭環境にあるかのような誤解や偏見を持たれ、特別な教育的配慮を受けることがほとんどありませんでした。

現在、通常の学級にいる障害児の教育が大きな課題となつてきています。LD(学習障害)やADHD(注意集中困難・多動症)などの障害を持つ子どもたちの教育問題です。LDは、全体的な知的発達に遅れはないが、読み書きや計算や推論するなど特定の能力の習得や使用に著しい困難を示す障害です。ADHDは、落ち着いて教師の話を聞けない、次々と興味に移り落ち着かない、忘れ物が多い、ルールが理解できないため友達とトラブルを起こすなどの症状があります。いずれも脳の一部に障害があるために引き起こされている症状です。このような障害はアメリカでは一九六〇年代から問題となつてきましたが、わが国でも最近大きな問題となつてきています。このような症状を持つ児童・生徒はクラスに一、二人いると言われています。

アメリカでは現在、学齢児の約五%に当たる二五〇万人の児童・生徒がLDと診断され、その多くは通常の学級で特別な配慮の下で教育を受けています。わが国でも大きく動き出しました。昨年、文部科学省の諮問を受けた研究調査協力者会議が「二十一世紀の特殊教育の在り方について」という答申を出し、これらの児童・生徒たちの教育の充実の方向を示しました。回答申は、新たな教育を「特別支援教育」と称し、その対象にLD、ADHDなどこれまで主として通常の学級に在籍していた児童・生徒を含めていきます。これまでの「特殊教育」の枠を拡大しているのが特徴です。これから皆さんも「特別支援教育」の用語を多く耳にすることと思います。

戦後、わが国の障害児教育は盲・聾・養護学校と特殊学級で実施されてきました。現在学齢児・生徒のおよそ一%がこれらの学校や学級で教育を受けています。LDやADHDの子どもたちはこれらの

私たちの研究室で実施している教育相談には今年度五十人近い子どもたちが訪れました(相談延べ二〇〇件)が、そのほとんどは通常学級に籍を持つLD、ADHDの子どもたちです。

一人ひとりの子どもたちの能力や個性を伸ばすことを目指す学校教育においてこれらの子どもたちに関する正しい理解と適切な対応が広がることを願っています。

# 平成十四年度 教員採用試験について

教育学部就職対策委員長 村上正明

## 平成十四年度採用試験の結果

教育学部の平成十四年度新規卒業業者(予定)は三百八名です。昨年度の卒業業者は三百八十名でしたので、約七十名ほど減少しました。平成十四年一月末現在、教員に内定した者は、合計で五十一名となっておりま

その内訳は、県内が十九名(私立学校二名含む)、県外(北海道・札幌市十五名、その他の県二十七名)です。これは、昨年度正規採用者比で十七名の増加となっております。このように全体的な採用状況は、少し明るさが見え始めてきたと思われま

## 平成十四年度青森県採用試験の結果

平成十四年度青森県採用試験には新規卒業業者(研究科を含む)百四十九名、過年度卒業業者四百二十九名が挑みました。その結果、新卒十八名と昨年比三名の減、既卒五十六名と昨年比六名の増で、全体では、昨年比三名増の七十四名(二名の特殊学校合格者を含む)が合格しました。合格者数では新卒が三名のダウンとなっておりま

校種別に見ますと、小学校が新卒十一

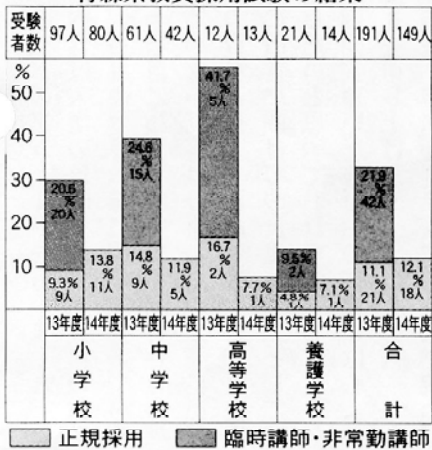
名、既卒三十六名、併せて昨年比五名増の四十七名合格と健闘したのに対し、中学校の新卒は五名に止まり、高等学校の既卒の落ち込みとともに今後気になる

## 対応と展望

例年合格者の動向を振り返りますと、一次試験合格者に対して二次試験合格者

最後に、長らく就職対策委員長として多大な貢献を尽くしてこられました星邦男先生が昨年九月逝去されました。ここに、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りしたいと思います。

青森県教員採用試験の結果



## 教育学部の国際交流

学部国際交流委員長

委員長 浅野 清

国際交流に関する教育学部の近況を報告させていただきます。

最近、文京キャンパスを歩いていると、外国人留学生が多くなつたことに気がつきます。紛らわしい茶髪の日本人学生の

せいでなく、聞こえてくる会話を英語や中国語、或いはたどたどしい日本語が混じっているからです。現在では凡そ百

二十名もの留学生が大学に席を置いています。これは、大学が留学生のための「国際交流科目」を開設したり、活発な広報

活動を続けている成果だと思えます。教育学部でも、大学院、学部の正規学生として、或いは研究生、科目等履修生、特

別聴講学生として、合わせて十七名が在籍していますが、他学部と比較するとまだ少ないほうでしょう。

昨年度から始まった教育学部の講義科目「外国語コミュニケーション」は、姉妹校である米国・メイン大学での英語集中授業とホームステイ等を通じた地元の人たちとの交流も含むという、とてもユニークなものです。全学の学生に開放し、

人気上昇中です。今年度はテロ事件のため実施が危ぶまれていましたが、先日総勢三十三名(学部学生二十六名)が三週間の日程で弘前を出発しました。

教官の交流としては、昨年八月から十

二月まで、理科教育の山下美樹助教が客員教授としてテネシー大学マーチン校に派遣され、物理学の講義・セミナー等を行い、両校の友好と親善に貢献したことがあげられます。また、日本政府が設立した「フルブライト・メモリアル基金教育者招聘プログラム」による教育関係者の訪問に関する報告書を刊行し、学部の国際交流への意欲を表したことは特筆に値することでしょう。

大学間姉妹校協定を結んだ大学の数はこの数年間で飛躍的に伸び、十九大学にも及んでいます(平成十四年一月現在)。交換留学生の受け入れと派遣に大きな役割を果たしていることは言うまでもありませんが、教官レベルでの交流も活発になってきており、研究者交流や共同研究の成果が教育の充実に繋がつてくれることを期待しています。

これからも皆様より一層のご支援をお願いいたします。



今年度修了予定の留学生たち

### 庶務報告

- 12. 6. 10 平成12年度総会
- 12. 7. 30 同窓会費納入依頼 (1)
- 13. 1. 19 同窓会費納入依頼 (2)
- 13. 2. 10 教員採用試験結果について
- 13. 2. 16 教育実習
- 13. 3. 1 会報「あすなろ22号」発行
- 13. 3. 21 同窓会費納入依頼 (3)
- 13. 3. 22 弘前大学卒業式・祝賀会
- 13. 3. 30 会費納入について緊急会議
- 13. 5. 14 平成13年度総会案内状発送
- 13. 5. 26 事務局打ち合わせ
- 13. 6. 5 会計監査

☆ 教育学部 (厚生係・会計係)  
との事務連絡は随時

平成十三年度弘前大学教育学部同窓会定時総会は、平成十三年六月九日(土)午後二時よりホテルニューキャッスルにおいて開催されました。相馬正栄北辰中学校校長の議事進行により、総会は終始なごやかなムードで取りおこなわれ、教員採用試験の合格率の話題や、生涯教育課程や国立大の統合についての質疑応答も出るなど、今後の会のありかたにも話題が広がる有意義なものとなりました。総会の講事内容は以下のとおりです。



### 平成12年度収支決算報告書

### 平成13年度予算 (案)

#### ○収入の部

(12.4.1~13.5.31)

|     | 12年度予算    | 12年度決算    | 備 考 |
|-----|-----------|-----------|-----|
| 会 費 | 2,678,400 | 1,996,300 |     |
| 繰越金 | 867,510   | 867,510   |     |
| 雑収入 | 500       | 284       | 利子  |
| 計   | 3,546,410 | 2,864,094 |     |

#### ○収入の部

(13.6.1~14.3.31)

|     | 12年度決算    | 13年度予算    | 備 考         |
|-----|-----------|-----------|-------------|
| 会 費 | 1,996,300 | 2,858,400 | 15,880×180名 |
| 繰越金 | 867,510   | 17,574    |             |
| 雑収入 | 284       | 0         | 利子          |
| 計   | 2,864,094 | 2,875,974 |             |

#### ○支出の部

|                | 12年度予算    | 12年度決算    | 備 考                          |
|----------------|-----------|-----------|------------------------------|
| 総 会 費          | 170,000   | 170,000   | 総会補助                         |
| 評 議 会 費        | 30,000    | 47,000    | 旅費を含む                        |
| 支部活動費          | 450,000   | 450,000   | 50,000×9                     |
| 会費徴収費          | 25,000    | 0         | 会費納入案内                       |
| 通 信 費          | 50,000    | 26,120    | 総会案内、督促状 他                   |
| 就職対策費          | 500,000   | 500,000   | 就職活動への補助 他                   |
| 教生対策費          | 250,000   | 200,000   | 教育実習運営協議会                    |
| 大学院対策費         | 200,000   | 100,000   | 文部省等打合せ旅費 他                  |
| 特別対策費          | 150,000   | 200,000   | 特別講演謝金                       |
| 教育開発活性化経費      | 300,000   | 200,000   | ファカルティ・テイバロメント実施経費           |
| 教大協担当校<br>支援経費 | 500,000   | 200,000   | 教大協担当校打合わせ旅費<br>会議当番校助成金等    |
| 会 報            | 230,000   | 230,000   | あすなろ22号                      |
| 新会員名簿印刷費       | 38,000    | 0         |                              |
| 基 金            | 200,000   | 0         |                              |
| 事 務 費          | 100,000   | 100,000   | 大学事務費                        |
| 事務局費           | 200,000   | 50,000    | 会長会議費、アルバイト費用 他              |
| 雑 費            | 153,410   | 373,400   | 全学同窓会職員録<br>医学部保健学科設置寄付封筒印刷費 |
| 計              | 3,546,410 | 2,846,520 |                              |

#### ○支出の部

|                | 12年度決算    | 13年度予算    | 備 考                      |
|----------------|-----------|-----------|--------------------------|
| 総 会 費          | 170,000   | 170,000   | 総会補助                     |
| 評 議 会 費        | 47,000    | 50,000    | 旅費を含む                    |
| 支部活動費          | 450,000   | 450,000   | 50,000×9                 |
| 会費徴収費          | 0         | 25,000    | 会費納入案内                   |
| 通 信 費          | 26,120    | 30,000    | 総会案内、督促状 他               |
| 就職対策費          | 500,000   | 400,000   | 就職活動への補助 他               |
| 教生対策費          | 250,000   | 250,000   | 教育実習運営協議会                |
| 大学院対策費         | 100,000   | 100,000   | 文部省等打合せ旅費 他              |
| 特別対策費          | 200,000   | 250,000   | 特別講演謝金                   |
| 教育開発活性化経費      | 200,000   | 100,000   | ファカルティ・テイバロメント実施経費       |
| 教大協担当校<br>支援経費 | 200,000   | 0         | 教大担当校打合わせ旅費<br>会議当番校助成金等 |
| 会 報            | 230,000   | 230,000   | あすなろ23号                  |
| 新会員名簿印刷費       | 0         | 50,000    |                          |
| 全学同窓会費         | 208,000   | 203,000   | 254×0.8×1,000            |
| 基 金            | 0         | 0         |                          |
| 事 務 費          | 100,000   | 100,000   | 大学事務費                    |
| 事務局費           | 50,000    | 100,000   | 会長会議費、アルバイト費用 他          |
| 雑 費            | 373,400   | 367,974   | 職員録、封筒印刷、他               |
| 計              | 2,846,520 | 2,875,974 |                          |

2,864,094 - 2,846,520 = 17,574円 (次年度へ繰り越し)

### 事業計画

1. 総 会
2. 教員採用試験結果について
3. 会報「あすなろ23号」発行
4. 弘前大学卒業式・祝賀会
5. 教育実習反省会
6. 反省会

### 特別会計基金 (1年定期預金)

青森銀行  
10,501,519 + 0 = 10,501,519円  
(12年度基金)

みちのく銀行  
9,103,584 + 0 = 9,103,584円  
(12年度基金)

平成十三年度役員

名誉会長 小澤 熹(教育学部長)

顧問 齋藤 善三(弘前市)

会長 長 木村清之助(弘前市)  
副会長 笹 良夫(青森市)

中川原兵威(八戸市)  
杉山 芬(青森市)  
工藤 睦男(弘前市)  
葛西 英之(五所川原市)  
太田 耕正(弘前市)  
工藤 光男(弘前市)

支部長

- 1. 弘前・中郡支部 笹森 義男(弘前二中)
- 2. 黒石・南郡支部 高橋 憲彦(小和森小)
- 3. 五所川原・北郡支部 鶴谷 雪子(梅沢小)
- 4. 西郡支部 徳田 洋光(木造西中)
- 5. 青森・東郡支部 奈良 年永(青森山田学園)
- 6. 八戸・三戸郡支部 高橋 信夫(柏崎小)
- 7. 三沢・十和田・上北郡支部 梅田 真規(六戸中)
- 8. むつ・下北郡支部 布施 勝大(大和小)
- 9. 弘前大学教育学部支部

10. その他の地区支部 平岡 恭一(教育学部)

1. 評議員 弘前・中郡支部

- 小野 禎亮(弘前市)
- 今泉 徹三(弘前市)
- 赤石 和夫(弘前市)
- 高岡 實(弘前市)
- 鈴木 弘(弘前市)
- 佐々木利直(弘前市)
- 佐藤 忠蔵(弘前市)
- 阿部 哲夫(弘一中)
- 松田千代治(西目屋小)

2. 黒石・南郡支部

- 秋田 豊(弘前市)
- 花田 幸三(岩木町)
- 奥崎 進(弘前市)
- 福士 兼義(田舎館小)
- 笠川 信明(黒石中)
- 栗林 欣一(平賀東小)
- 小野 信博(女鹿沢小)
- 立花 茂樹(中郷小)

3. 五所川原・北郡支部

- 加藤 修司(小阿弥小)
- 成田志津子(妙堂崎小)
- 小田川修三(喜良市小)
- 宮崎 和徳(飯詰小)
- 金澤 和生(羽野木沢小)
- 田中 初美(胡桃館小)

4. 西郡支部

- 高橋 秀一(木造町)
- 三上健之助(柏村)
- 黒滝 清昭(稲垣西小)
- 木村 健一(修道小)
- 中濱 和夫(鳴沢小)
- 三浦 則孝(柏小)
- 赤坂 桂吾(吹原小)

5. 青森・東郡支部

- 吉田 秀一(小湊小)
- 種市 龍雄(佃中)
- 須藤 努(狩場沢小)

6. 八戸・三戸郡支部

- 成田 誠二(八戸市)
- 小松 史明(青潮小)
- 澤田 明久(白銀南小)
- 関根 建夫(三戸小)
- 岩崎 光宏(倉石中)

7. 三沢・十和田・上北郡支部

- 山田 誠司(三沢市)
- 葛西 紀一(十和田市)
- 石坂 敏夫(三沢市)
- 吉田 信彌(十和田湖第一中)
- 岩田 繁雄(木崎野小)
- 永瀬 俊明(三沢三中)
- 廣野 雅美(上北中)
- 川村 正(泊小)

8. むつ・下北郡支部

- 加世多寿雄(関根小)

9. 大学教育学部支部

- 奈良 光男(大畑小)
- 竹浪 和夫(近川中)
- 松原 勝寿(苦生小)
- 工藤 魏(川内中)
- 石川 貞吉(むつ市)
- 丹藤 進(教育)
- 盛 玲子(教育)
- 米内山千賀子(教育)
- 佐藤 武司(教育)
- 木村のり子(附中)
- 工藤 強(附中)
- 葛西ゆう子(附養)
- 山口 裕子(附幼)

常任委員

- 相馬 正栄(北辰中)
- 伊藤 學(教育委)
- 葛西 一誠(船沢中)
- 中村真木子(北辰中)

平成十三年度の総会で決定した事業で、弘前公園の旧弘前大学教育学部跡地に記念植樹をする件について、ようやくその運びとなりました。四月上旬に現在レクリエーション広場になっている場所にしだれ桜を植樹しますのでお知らせ致します。